

講義科目名称： アートをたのしむ

授業コード： 2210100400

英文科目名称： Art Appreciation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎尾崎祐司、玉村恭、長谷川正規、安部泰、五十嵐史帆、伊藤将和、兪期天			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎尾崎 祐司 玉村 恭 長谷川 正規 安部 泰 五十嵐 史帆 伊藤 将和 兪 期天</p> <p>【研究室】 上越教育大学 (音楽) 上越教育大学 (音楽) 上越教育大学 (音楽) 上越教育大学 (美術) 上越教育大学 (美術) 上越教育大学 (美術) 上越教育大学 (美術)</p> <p>【本学の科目区分】 教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎</p>
------	---

到達目標	生涯にわたって音楽・美術に親しみ、豊かな生活を営むとともに、看護の仕事においても役立てることができる新たな視点を得る。
------	---

授業概要	講義や演習を通して、音楽作品、及び美術作品や造形活動に親しみ、それらが自身の生活や社会、そして、人が生きることとどのように関わっているのかを理解する。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：ガイダンス アート（芸術）の活動を行う意義 学習内容：講義内容全体についての説明 芸術活動が人の創造力を養ったり精神的な安定をもたらしたりする役割について学ぶ。 担当教員：尾崎</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：音楽をつくってみる 学習内容：漠然としたイメージを具体的な音にする表現活動をとおして創造する意義を学ぶ。 担当教員：尾崎</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：日本の伝統音楽・民俗芸能の楽しみ方 学習内容：我が国の伝統音楽や地域の民謡などの特徴について学ぶ。 担当教員：玉村</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：諸外国の音楽の楽しみ方 学習内容：主にアジアの音楽についてリズムや音楽の構造について学ぶ。 担当教員：玉村</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：合奏の仕組みと楽しみ方 学習内容：平易なボディーパーカッションの実践を通して、音を合わせることの意義について考える。 担当教員：長谷川</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：オーケストラで起きていること 学習内容：より大きな合奏体としてオーケストラを取り上げ、合奏を創るシステムについて考える。</p>
------	--

	7	担当教員：長谷川 授業内容 授業形態：対面 学習課題：つくること、表現することをたのしむ 学習内容：小学校の「図画工作科」について学び、つくる楽しみやその意義について実際の体験を通して考える。 担当教員：五十嵐
	8	授業内容 授業形態：対面 学習課題：アートを介したコミュニケーションをたのしむ 学習内容：作品と一緒に鑑賞したり、自身の創作について話したりすることで、人と関わることを楽しむ。 担当教員：五十嵐
	9	授業内容 授業形態：対面 学習課題：美術史と絵画表現の変容 学習内容：美術史に触れながら、西洋絵画の表現について学ぶ。 担当教員：伊藤
	10	授業内容 授業形態：対面 学習課題：美術史と現代の美術表現 学習内容：美術史に触れながら、現代美術表現について学ぶ。 担当教員：伊藤
	11	授業内容 授業形態：対面 学習課題：デザインと生活 学習内容：日常生活で利用するデザインへの理解を踏まえ、工夫によって生活を向上させることを試みる。 担当教員：安部
	12	授業内容 授業形態：対面 学習課題：視覚デザインと伝達 学習内容：サインやピクトグラム、書体等による情報伝達の差異について理解し、その利用や改善について検討する。 担当教員：安部
	13	授業内容 授業形態：対面 学習課題：陶芸とアート 学習内容：陶芸の技法や工程を理解し、次回の自作に取り組むことができるように解説する。 担当教員：兪
	14	授業内容 授業形態：対面 学習課題：陶芸をたのしむ 学習内容：陶芸の技法で作品づくりの実技を行う。 担当教員：兪
	15	授業内容 授業形態：対面 学習課題：音楽の意味を考えながら聴く 学習内容：音楽から何を聴き取ることで心に影響があるのか聴きながら考える。 担当教員：尾崎
事前・事後学習	機会があれば、小林古径記念美術館など美術館を訪問しておくことが望ましい。 駅や水族館、博物館等の公共施設で使用されているデザインについて、興味や疑問を持ちながら利用し、必要に応じて記録（メモ、スケッチ、撮影）しておくこと。	
評価方法、評価基準	授業内の提出物（80%）および筆記論述試験（20%）	
必携図書	特に無し	
参考図書・資料等	各授業担当者が必要に応じて配布する。美術の教材費の負担がある。	
受講、課題、資料配布等のルール	授業内の提出物が多いです。遺漏のないように心がけてください。	
教員からのメッセージ	各授業内容が将来の自身の職務にどう生かせそうか考えながら受講できることが望ましいです。	
オフィスアワー		